

第2回宮地岳生物モニタリング調査 H26・3・5 8:00~15:00



NO	氏名	生態モニタリング調査分野	住所
1	溝口 澄子	植物	筑紫野市天山121-2
2	入江 孝司	植物	筑紫郡那珂川町片縄北3-9-34
3	戸町 チヅル	シダ類	春日市平田台3-86-3
4	廣 伸俊	鳥	太宰府市大佐野6-22-18
5	渡部 登	動物	筑紫野市原592-25

- 紹介：入江孝司さんは80歳になられますが、「那珂川町山と植物愛好会」を主宰され、山登りと植物観察（草本、木本）をされています。那珂川町の山はほとんど登られて、連れていかれる方々に草木の名前などを教えてあるとのこと。遠くには、九重、阿蘇にも出かけられるそうです。雑木林の自然林である天山の里山は、珍しいとのことでした。在来種は、大切に保存されることがいいでしょうとの助言をいただきました。特にクロバイ、アオハダ、キハダなどは伐採しないでおくことや、檀徒池のすぐ上にある大きなウリハダカエ、イヌシデ広場のクロバイは残すことでしたと言われました。



1. 植物 溝口澄子 入江孝司

公民館～高木神社～童男少女岩～九電鉄塔～宮地岳神社～中阿志岐～宝満川沿い

コスミレ 	セントウソウ 	ツルボ 
ヒサカキの雌花 	ヒサカキの雄花 	イヌガシの花 
コ克蘭の昨年の花	ソヨデ♀	アオハダの幹



クロキの幼木



クロバイの幹



クロバイ枝葉



エゴノキ



カクレミノの幹



ヤブニッケイの幹



ウグイスカズラ



ツルグミ



シイの木の板根



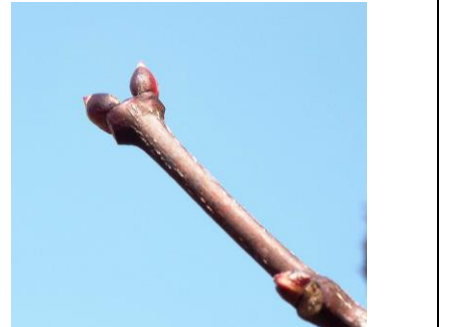
ヤマモガシの幼木



モッコク



ゴンスイの新芽



## 2. シダ類 戸町チツ子

2014・3・5 8:00~15:00 (曇りのち晴れ)

公民館~高木神社~童男卯女岩~九電鉄塔~宮地岳神社~中阿志岐~宝満川沿い

今回の調査では檀徒池のところに砂防ダムの工事が入っていたのでシダの植生が心配されましたが大した影響もなく前回の調査と変わらずにありました。

新しいルート进行调查しましたので違った植生が期待されましたが、種類としてはこれまでの調査と大差はありませんでした。ただ中阿志岐への下りのルートはシダの株が多くありましたので斜面に分け入って調査するとまた違った発見があるかもしれません。

<p>ホソバトウゲシバ</p> 	<p>シロヤマダ</p> 	<p>サイゴクイノデ</p> 
<p>オオキジノオシダ</p> 	<p>シケチシダ</p> 	<p>ヤブソテツ</p> 
<p>オオカグマ</p> 	<p>ノコギリソウ</p> 	<p>イノデ</p> 
<p>ツクシイワヘゴ</p> 	<p>フモチジダ</p> 	<p>ホソバトウゲシバ</p> 











### 3. H26・3・5 宮地岳生物モニタリング調査 鳥

廣伸俊

日時:2014年3月5日 8:00~15:00 天候:曇り(北風強)

場所: ①8:00 天山公民館周辺-②8:20 芋が谷池・③8:40 芋が谷池周辺-④9:00 高木神社周辺-		
⑤9:10 宮地岳山中(童男男女岩-宮地岳神社-円徳寺)-⑥13:30 中阿志岐・宝満川沿い		
③14:30 芋が谷池周辺-15:00 天山公民館		

(備考)ヒバリ、ウグイス、ヤマガラ、シジウカラの囀りが聞かれた。ハシボソガラスが巣材を運んでいた。

<p>カイツブリ</p> 	<p>カワウ</p> 	<p>マガモ♀♂</p> 
<p>コガモ♂</p> 	<p>トビの幼鳥</p> 	<p>バン 下河原橋の上流</p> 
<p>アオサギ</p> 	<p>セグロセキレイ</p> 	<p>ツグミ 芋が谷池</p> 
<p>イソシギ めったに見れない</p> 	<p>キセキレイ 胸が鮮やかな黄色</p> 	<p>カルガモ</p> 

## 4. H26・3・5 宮地岳生物モニタリング調査

陸上脊椎動物担当 渡部 登

調査の概要 調査日時：2014年3月5日（水）8：00～15：30

調査地域：天山公民館～芋が谷池周辺～高木神社～童男少女岩～蘆岐城跡～高圧鉄塔～宮地岳神社～阿志岐城跡～阿志岐山城石垣付近～圓徳寺～宝満川中流河川敷～天山公民館（図版1）両生類・爬虫類の記録 春はまだ近いといっても、冬眠にはいっており、確認できなかった。

### 哺乳類の記録

#### ●キュウシュウムササビ *Petaurista leukoogenys*

前回は確認が出来なかったが、高木神社の境内にてクスノキの葉に本州独特の歯形が認められた。

#### ●ニホンイノシシ *Sus scrofa*

ほとんど全範囲において活動が確認できた。土耕跡・足跡は柔らかい土壌が露出しているところに散見され、竹林においては深さ 20cm ほど掘り起こされてタケノコを掘り起こして摂食した跡が示された。

#### ●コウバモグラ *Mogera kobeeae*

本種のものと思われる坑道、土罎（マウンド）が確認された。


#### ●ニホンイタチ *Musutera itasti* 宮地岳山中で本種のものと思われる糞が確認された。

#### ●ホンドテン *Martes melampus* 果実の種子を含む独特の糞が確認された。

#### ●ホンドタヌキ *Nyctereutes procyonoides*

ホンドタヌキのものと思われる溜糞は童男少女岩を過ぎたあたりから随所に見られた。

まとめ 早春の調査として、前回の調査では確認できなかったムササビとニホンイタチの生息跡が追加され、哺乳類に関する知見がかなり得られたということで、大きな成果が上がったと思う。哺乳類は痕跡のみの情報しか得られなかったが、宮路岳一帯には多様な生物が生息しており、活発に活動していることが確認できた。

<p>ムササビの食痕</p> 	<p>芋が谷池付近の猪の土耕跡</p> 	<p>コウバモグラの坑道・土罎</p> 
<p>ニホンイタチの糞</p> 	<p>阿志岐山城跡付近の新しいテンの糞</p> 	<p>阿志岐山城跡石垣付近の大規模なタヌキのため糞</p> 